

2025年度事業計画書



東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

① 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する

周辺・ 社会環境	・デジタル化による魅力創造と環境に取り組む社会活動、エンターテインメント性向上で、スーパーフォーミュラとスーパー耐久はブランド価値向上に成功 ・エモい魅力や楽しさを発信し、ファンを獲得するスポーツチームや選手が増加 ・フジテレビ問題をはじめ、組織にはガバナンスとコンプライアンスを強く求められている ・事故の減少や安全対策の強化が求められている ・若手選手の育成ならびに女性参加者や競技役員の新規獲得とスキルアップを求める声が高まっている
社内 環境	・2030年に向けた中期計画方針を立てる時期 ・会計システム更新から2年が経過、予実とスケジュールに対しての認知が進み、計画立てた予実管理が出来る環境が整いつつある ・支部解体から5年が経過、支部を基準にした委員会や制度を見直す時期 ・職員の世代交代が着実に進むものの、急激な交代であるため、あるべき形の運用や対応が判らず模索が続いている

重点目標

- 1. 連携強化と人材育成**：外部企業、団体、個人との連携を強化し、若手育成と新たなファン・競技役員の新規獲得を目指します
- 2. 安全教育の強化**：競技エリアと装備品の安全向上を図りつつ、安全講習会と安全啓発により重篤な事故を防止する
- 3. 将来を見据えた基盤整備**：中期ビジョンとガバナンスコードを再構築し、モーターサイクルスポーツの魅力と価値を示す指針を策定します

具 体的 な 取 り 組 み	連携強化	企業や地域団体との連携を深め、イベント開催やスポンサー獲得を目指します スクール開催団体や施設と連携し、若手ライダーの新たな育成プログラムを開発します
	人材育成	女性にフォーカスした若手ライダーの発掘・育成プログラムを充実させます 競技役員の新規告知や研修会を実施します
	ファン獲得	体験型イベントや初心者向けプログラムを開催し、モーターサイクルスポーツの魅力を発信します SNSを活用した情報発信やファン交流イベントを実施します レース観戦チケットの割引や特典付き会員制度を導入します
	将来ビジョン策定	2030年以降を見据えた中期ビジョンを策定し、長期的な目標や戦略を明確にします
	ガバナンスコード 再構築	組織運営の透明性・公正性を確保するためのガバナンスコードを再構築します 法令遵守やリスク管理体制を強化します

本年度の重要施策

- 1. 若手育成とファン層拡大**
- 2. 持続可能な運営体制の構築**
- 3. 魅力的なコンテンツの提供**
- 4. 社会との連携強化**
- 5. 安全教育/環境対策**

② 全体事業

1. 2030年MFJビジョンの策定
コロナ禍で策定が見送られた中期計画（2026年から取組む5か年計画）を策定する
2. ガバナンスコード再整備と遵守
モーターサイクルスポーツが、社会に認知され継続していくために 必要なものとしてガバナンスコードを再整備する
まずはスポーツ庁が求める 国内スポーツ団体として標準的な ガバナンスコードを参考にしながら、MFJ版のコードを再策定する

③ 会員加入促進事業

1. 個人会員事業
 - a. 申請受付・登録確認作業を行う（WEB申請・郵送申請）
 - b. 生活に沿った魅力あるサービスの充実（現在：キズキレンタル、ルートインホテルズ、ZuttoRide、パークアップ、ビックカメラ、JTB、ジャベックス（2025年））
 - ・ 会員管理システムの遅延部分の完成に取り組む
 - ・ 新システム変更に伴い 取りこぼした会員を、更新手続きをサポートする制度を開始
 - ・ 会員名に旧姓使用を認め、運用を行う
 - ・ 国内競技規則書発表と同時に、有償販売を実施
2. 法人会員事業
 - a. 特別会員・賛助会員・メディア会員の申請受付・登録作業を行う
 - b. 賛助会員（個人）の商品性向上を図り、新たな会員を獲得する
3. MFJプロモーション事業
各地のレース開催情報や結果、規則変更など、WEBやSNSを通じ発信する

④ スポーツ事業

1. 主催事業
MFJが共同主催として、世界選手権および全日本選手権を開催する
 - ・ 主催競技会として、17大会開催する
2. 競技会公認・承認事業
規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する（計画 380大会）
 - ・ エリア選手権、地方選手権、そして承認競技会の国際格式申請の制度整備を行う（申請料含む）
 - ・ 世界選手権、全日本選手権（MFJGPとロードレース）の競技会公認料の価格改定手続きを行い、2025年度改定を実施する
3. 大会運営支援事業
主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員、セーフティオフィサー、レースアドバイザー、テクニカルアドバイザー等を派遣する

④ スポーツ事業

4. 主要競技会日程

FIM世界選手権/国際選手権	日程	会場	開催クラス			
2025 FIM MotoGP™ 世界選手権シリーズ 第17戦 MOTUL Grand Prix of Japan	9月26日～28日	モビリティリゾートもてぎ（栃木）	MotoGP	Moto2	Moto3	ATC
FIM 世界耐久選手権第3戦 “コカ・コーラ”鈴鹿 8時間耐久ロードレース第46回大会	8月 1日～ 3日	鈴鹿サーキット（三重）	EWC	SST		
FIMアジアロードレース選手権シリーズ第3戦 日本ラウンド	7月11日～13日	モビリティリゾートもてぎ（栃木）	ASB1000	SS600	AP250	UB150

全日本ロードレース選手権（全て国際格式）			全日本クラス				MFJカップ
			JSB1000	ST1000	ST600	J-GP3	JP250
第1戦	4月19～20日	モビリティリゾートもてぎ（2 & 4）	○				
第2戦	5月24～25日	スポーツランドSUGO	◎	○	◎	○	○
第3戦	6月22日	筑波サーキット				○	○
第4戦	8月23～24日	モビリティリゾートもてぎ	◎	○	○	○	○
第5戦	9月13～14日	オートポリス	◎	◎	○	○	○
第6戦	10月4～5日	岡山国際サーキット	○	○	○	○	○
第7戦	10月25～26日	鈴鹿サーキット（MFJGP）	◎	○	○	○	○
		レース数 ※◎:2レース	10	6	6	6	6

鈴鹿2 & 4 非開催
【クラス協賛】

- JSB1000クラス / ハルターマン・カーレス社
名称：JSB1000 Supported by ETS Racing Fuels
- ST1000/JP250クラス / DUNLOP社
名称：ST1000 DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER
JP250 DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER
- ST600クラス / BRIDGESTONE社
名称：ST600 Supported by BRIDGESTONE

【2025年取組み】

- 参加選手対象マナー講習実施（4月8・9日限定）
& セーフティワークショップ参加義務（新規）
- 大会別運営・会場ランキング評価（新規）

【TV・WEB映像関連】委託先：GMP（継続）

- ① TV放送：BS12トゥエルビ TV.moto channel と番組アーカイブ（Youtube）
全日本ロードレース選手権等のダイジェスト編集、レース番組として放送
- 放送回数：月1回30分番組 10本予定（2025年3月～12月予定）
 - 放送クラス：全日本ロードレース/全日本モトクロス ダイジェスト
- ② WEB動画配信：ロードレースmotoバトルLIVE（登録者数 7.15万人）
- 配信予定：土曜（予選）/日曜（決勝）のライブ配信
事前告知映像の配信を実施（継続）
 - 配信クラス：全日本選手権及びMFJカップ全大会及び全クラス
 - 継続しない：英語実況放送「motoバトルLIVE GLOBAL」

【WEB・SNS関連】委託先：MS-innovation※MRPJ活動終了 ART坂井代表と手島理事 新組織へ
委託内容：ホームページの運営と製作、Facebook/XなどSNSの発信 及び 現地プロモーション

- ◎SNSの徹底活用—— SNSを上流に！SNSの活性！
各選手やチームの協力を仰ぎながら、全日本ロードレースの情報流通を促進
 - ◎攻めのSNS、抑えのWEBサイト—— 棲み分けを明確！更新の主軸はSNSへ！
WEBサイトは情報の倉庫として必要な情報を分かりやすくアーカイブ。
- ① SNS展開：レース期間…スチール＋取材3本＝6本（X、Instagram、FBへ同内容）
全7戦×3日＝21日 6本×21日＝126本 テスト1回×2日＝2日 6本×2日＝12本
計138本（最少／予定）
レース期間以外…ライダー投稿の引用、JRRサイト更新の案内など随時 2～3本／日
計600～1000本（予定）
- ② WEBサイト記事：年間200本前後掲載 Webikeレース専門サイトとの連携

④ スポーツ事業

D.I.D全日本モトクロス選手権（全て国際格式）			全日本クラス				併催
			IA1	IA2	IBO	LMX	
第1戦	4月13日	HSR九州（熊本）	○	○	○	○	○
第2戦	4月26～27日	スポーツランドSUGO（宮城）	○	○	○	○	○
第3戦	5月17～18日	オフロードビレッジ（埼玉）	○	○	○	○	○
第4戦	6月14～15日	世羅グリーンパーク（広島）	○	○	○	○	○
第5戦	9月20～21日	名阪スポーツランド（奈良）	○	○	○	○	○
第6戦	10月18～19日	オフロードビレッジ（埼玉）	○	○	○	○	○
第7戦	11月1～2日	スポーツランドSUGO（MFJGP）	○	○	○	○	○

モトクロス全国大会		開催クラス				
10月26日	HSR九州（熊本）	NA	NB	JX	K65	CX
11月23日	スポーツランド菅生（宮城）	NA	NB	JX	K65	CX

FIMトライアル世界選手権	日程	会場	開催クラス		
2025 FIMトライアル世界選手権 第3戦 日本グランプリ	5月17～18日	モビリティリゾートもてぎ	TRGP	TR2	WGP

全日本トライアル選手権（全て国際格式）			全日本クラス			
			IAS	IA	IB	Ladies
第1戦	4月13日	キョウセイドライバーランド（中部）	○	○	○	○
第2戦	4月27日	玖珠トライアルパーク（九州）	○	○	○	○
第3戦	6月8日	モビリティリゾートもてぎ（関東）	○	○	○	○
第4戦	7月13日	わっさむサーキット（北海道）	○	○	○	○
第5戦	9月7日	灰塚ダムトライアルパーク（中国）	○	○	○	○
第6戦	10月5日	スポーツランドSUGO（東北）	○	○	○	○
第7戦	10月26日	湯浅トライアルパーク（近畿）	○	○	○	○
第8戦	11月2日	シティートライアル（近畿）	○選抜			予定

第1戦HSR九州 1 Day開催 / 第4戦世羅グリーンパーク弘楽園 再開
【全日本シリーズ冠協賛】 大同工業株式会社（D.I.D）継続
名称：D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2025
【全日本シリーズ管理】 委託先：㈱モトスポーツプロモーション
・ エントリー窓口一元化
・ オフィシャルWEB（JMX）/SNSによる情報発信
・ チケット販売
・ シリーズスポンサー対応（露出物設置等）/主催者との連絡調整
・ レースディレクション等派遣管理
【TV・WEB映像関連】 委託先：GMP（継続）
WEB動画配信：モトクロスmotoバトルLIVE（YouTube）
・ 配信予定：決勝のライブ配信（ロードと同日の場合、アーカイブ配信）
事前告知映像の配信を実施（新規）
・ 配信クラス：全日本選手権の全クラス
【2025年取組み】
・ 次大会告知＋オフィシャル募集＋アンケートのプログラム広告（新規）
・ 大会別運営・会場ランキング評価（新規）

トライアルグランドチャンピオン大会		開催クラス		
11月16日	会場調整中（中部）	GC	Ladies	地区対抗

【全日本シリーズ管理】委託先：㈱モトスポーツプロモーション
・ イベント事務局業務（エントリー窓口一元化）
・ オフィシャルWEBによる情報発信 SNSでの拡散
【2025年取組み】
・ （キョウセイ大会）QRコードで入場管理に挑戦（新規）
・ 次大会告知＋オフィシャル募集＋アンケート募集のプログラム広告（新規）
・ サポートズパス販売（新規）
※相互連携：ロードサポートズパスで観戦無料
・ 女性トイレ・休憩エリア改善（新規）
・ 大会別運営・会場ランキング評価（新規）

④ スポーツ事業

全日本インデューロ選手権			全日本クラス					併催
			IA	IB	NA	NB	W	
第1戦	3月16日	テージアスランチ（広島）	○	○	○	○	○	-
第2戦	5月10日～11日	チーズナッツパーク（福島）	○	○	○	○	○	-
第3戦	9月13～14日	日高（北海道）準国際	○	○	○	○	○	○
第4戦	10月25～26日	プラザ阪下（大阪）	○	○	○	○	○	○

【全日本シリーズ管理】 委託先：(株)Grizzlyプロモーション

- ・ イベント事務局業務（お問合わせ先）
- ・ オフィシャルWEBによる情報発信 SNSでの拡散

全日本スーパーモト選手権			全日本クラス				併催
			S 1 Pro	S1 Open	S2	S3	
第1戦	5月10～11日	茂原ツインサーキット（千葉）	○	○	○	○	○
第2戦	6月14～15日	美浜サーキット（愛知）	○	○	○	○	○
第3戦	7月5～6日	HSR九州（熊本）	○	○	○	○	-
第4戦	8月23～24日	名阪スポーツランド（奈良）	○	○	○	-	-
第5戦	9月6～7日	神戸スポーツサーキット（神戸）	○	○	○	○	○
第6戦	10月11～12日	名阪スポーツランド（奈良）	○	○	○	-	○
第7戦	11月8～9日	美浜サーキット（愛知）	○	○	○	○	○

全日本スノーモビル選手権			全日本クラス				併催
			SX Pro	SX A1	SX A2	SX B1	
第1戦/第2戦	2月8日/9日	士別特設会場（北海道）	○	○	○	○	○
第3戦/第4戦	2月22日/23日	ウイズユー四季彩の丘特設（北海道）	○	○	○	○	○
第5戦/第6戦	3月8日/9日	岩木青少年スポーツセンター（青森）	○	○	○	○	○

④ スポーツ事業

月	日	国際大会	ロードレース	JSB	ST 1000	ST 600	JGP3	MFJ JP250 併催	モトクロス	トライアル	SN = 全日本スノーモビル ED = 全日本エンデューロ SM = 全日本スーパーモト
2	9										SN ①② 土別大会
	23										SN ③④ 美瑛大会
3	9										SN ⑤⑥ 青森大会
	23										ED テージャスランチ
4	13								全日本 HSR九州	全日本 キョウセイ	
	20		全日本 もてぎ24	○							
	27								全日本 SUGO	全日本 玖珠	
5	11										SM 茂原、ED チーズナッツパーク
	18	Trial WCもてぎ							全日本 OFV	TRWC もてぎ	
	25		全日本 SUGO	◎	○	◎	○	○			
6	1										
	8									全日本 もてぎ	
	15								全日本 世羅G弘楽園		SM 美浜
	22		全日本 筑波				◎	○			
7	6										SM HSR九州
	13	ARRCもてぎ	アジアロード もてぎ							全日本 和寒	
8	3	EWC鈴鹿	鈴鹿8耐								
	24		全日本 もてぎ	◎	◎	○	○	○			SM 名阪
9	7									全日本 灰塚	SM 神戸
	14		全日本 AP	◎	○	○	○	○		(灰塚予備日)	ED 日高
	21	Trial DN ITALY							全日本 名阪SPL		
	28	MotoGP もてぎ	MotoGP								
10	5	MxoN USA	全日本 岡山	○	○	○	○	○		全日本 SUGO	
	12										SM 名阪
	19								全日本 OFV		
	26		全日本鈴鹿MFJGP	◎	○	○	○	○		全日本 湯浅	ED 女川町
11	2								全日本 SUGO	全日本CTJ	
	9										SM 美浜
2025		大会数		6	5	5	6	6	7	8	SN = 3、SM = 7、ED = 4

- 2025年全日本選手権以上のスケジュール
2025変化点
 - ・RD：2&4鈴鹿 非開催 → JSB▲1大会
 - ・MX：HSR九州 ▲1大会
北海道 非開催 ▲1大会
広島 弘楽園再開 +1大会
開催を目指した“いなべ大会、”調整つかず非開催
→ ▲1大会
 - ・SM:会場変更 菅生大会 → 名阪大会（年2回開催）
- 2026年シティートライアル関東開催に向けた取り組み
候補地を横浜赤レンガ倉庫に定め、2025年度中にエキシビションイベントを行い、2026年CTJ横浜or東京の開催を目指す

④ スポーツ事業

5. 表彰式・顕彰事業

- a. 全日本選手権表彰式 “MFJ Moto Awards”
全日本選手権各種目の年間チャンピオンを表彰する式典を開催する（各種目最上位クラスは3位まで）
開催日：12月20日（土） 場所：東京・竹芝・東京ポートシティ竹芝 ポートホール
- b. MFJモーターサイクルスポーツ殿堂
殿堂評議委員会にて、殿堂顕彰者を選考。顕彰式は、MFJ Moto Awardsにて実施
- c. 日本ライダーズフォーラムと共催する「にっぽん応援ツーリング」の優秀者を、東京モーターサイクルショーにて表彰する
- d. スポーツ庁顕彰 スポーツ功労者賞
社会的認知を高めるために、スポーツ庁が企画するスポーツ功労者顕彰に推薦する
 - ・ スポーツ功労者賞4年連続受賞を目指し、功績ある実力者の掘り起こしとスポーツ庁へ事前交渉に取り組む
 - ・ チャイルドクロスの年間表彰式を実施する

6. 代表選手派遣事業

国際大会への派遣は、競技力の向上のみならずスポーツを通じた国際感覚の育成、人間形成に寄与するため、代表チームの選抜と認定を適時行う

- a. トライアル・デ・ナシオン 9月20日（土）～21日（日） イタリア／トルメッツォ
- b. モトクロス・オブ・ネーションズ 10月 4日（土）～ 5日（日） アメリカ／クロフォースビル
- c. アジア国別対抗戦 第1戦 9月14日 タイ
第2戦 10月18-19日 台湾
第3戦 11月22-24日 フィリピン
 - ・ アジア国別対抗戦は、更に女性に特化した派遣を行う
モーターサイクルスポーツに於けるジェンダー平等と女性地位向上を訴求し、女性選手のロールモデル育成とエンパワメントを促進することを目的とする
6月中に派遣条件を公示し、参加者を広く募集する

7. 競技施設の公認事業

規定に基づいた要件を満たした施設を公認し、施設の安全性を担保する。公認済み施設は、定期査察を実施し、現状把握と安全性を維持する

- ・ 曖昧になったコース査察基準や属人化した査察員の基準を再度整備し、規定化する

④ スポーツ事業

8. 競技用車両・部品・用品の公認と販売サービス事業

- a. 競技の公平・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する
- b. 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- c. 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する
 - ・ ノンスリップのコースペイントを国内で開発し、国内施設が低コストで高い安全性を確保できる環境を作り上げる

9. 競技役員の教育事業

各主催者の主要競技役員を集めたシーズン前セミナーや勉強会を開催

10. その他事業

- ・ アスリート（ライダーズ）部会の設立
競技選手で構成される国内外のスポーツ団体では当たり前の委員会。2025年度からJAFも開始するため、モーターサイクルスポーツも追従し水平展開する選手の権利を守り、満足度を高めるとともに、選手が競技種目を代表者である自覚を促しながら責任と義務を共有し、競技団体の発展を目的とする
- ・ FIMニュージェネレーション技術規則に則した新クラスを整備 → 2025年中に方向性を発表し、2026年に規則を発表 2027年新クラス開始を目指す
- ・ 遅延した競技会申請・エントリーシステムを2025年11月には稼働させる

⑤ 全日本選手権マーケティング事業

SNSと現地プロモーションを通じ、全日本選手権の魅力を発信し、モーターサイクルスポーツの興味層を拡大する

1. 全日本ロードレース/モトクロスの映像制作・露出 委託先：GMP（継続）

- a. TV放送：BS12トゥエルビ TV.moto channel と番組アーカイブ（Youtube）
全日本選手権等のダイジェスト編集、レース番組として放送
 - ・ 放送回数：月1回 30分番組 10本予定（2025年3月～12月予定）
- b. ロードレース WEB動画配信：motoバトルLIVE（登録者数 7.15万人）
 - ・ 配信予定：事前告知映像の配信を実施（継続） → 土曜（予選）/日曜（決勝）のライブ配信
 - ・ 配信クラス：全日本選手権及びMFJカップ全大会及び全クラス
- c. モトクロス WEB動画配信：motoバトルLIVE（YouTube）
 - ・ 配信予定：事前告知映像の配信を実施（新規） → 決勝のライブ配信（ロードと同日の場合、アーカイブ配信）
 - ・ 配信クラス：全日本選手権の全クラス

継続しない英語実況放送「motoバトルLIVE GLOBAL」

⑤ 全日本選手権マーケティング事業

2. トライアルの映像制作・露出 委託先：自然山通信
 - a. YouTubeでのライブ配信
3. オフィシャルホームページ制作とSNS配信
 - a. ロードレース：MS-innovation(River Crane/Webike)へ業務委託

ARTと連携し、選手のライブ感を盛り込んだ現場の迫力、楽しさを素早く発信する

 - ・ ◎SNSの徹底活用—— SNSを上流に！SNSの活性！
各選手やチームの協力を仰ぎながら、全日本ロードレースの情報流通を促進。発信情報は、ビジュアル（動画と静止画）を大きな柱とする
 - ・ ◎攻めのSNS、抑えのWEBサイト—— 棲み分けを明確！更新の主軸はSNSへ！
WEBサイトは情報の倉庫とします。WEBサイトには観戦にあたって必要な情報を分かりやすくアーカイブする
 - ・ SNS展開：レース期間…スチール＋取材3本＝6本（X、Instagram、FBへ同内容）
全7戦×3日＝21日 6本×21日＝126本 テスト1回×2日＝2日 6本×2日＝12本 計138本（最少／予定）
レース期間以外…ライダー投稿の引用、JRRサイト更新の案内など随時 2～3本／日 計600～1000本（予定）
 - ・ WEBサイト記事：年間200本前後掲載 Webikeレース専門サイトとの連携
 - b. モトクロス、トライアル：モトスポーツプロモーションへ業務委託
4. Liveプロモーション
 - a. ロードレース（現地）：イベントと表彰式 すべての取り組みを MS-innovationへ業務委託
ARTと連携し、お客様の満足度が高い内容に高める
 - ・ 新たなファンエンゲージメントを高め、新たなファン層の開拓と従来ファンの満足度を高める
5. サポーターズパスの販売・運営

全日本選手権の年間パドックパスを一般販売
ライディングハート社へ、案内と券売業務を委託

 - ・ ロードレース：8大会→7大会に減するも、トライアル観戦を加え従来価格で販売
価格@38,000円を維持
販売目標 300枚 実績枚数 237枚
 - ・ トライアル：固定ファンの満足度向上と同伴者のお友達拡大を目指す
価格@10,000円
販売目標 50枚 実績枚数 9枚

⑥ MC普及事業

11

1. 出展事業

全日本で活躍する選手のトークショーやパフォーマンスデモなどを通じ、全日本選手権の周知と試乗・体験可能な地域イベント情報を提供し、参加機会を提供する

- a. 東京モーターサイクルショーへの出展
- b. トライアルパフォーマンス
 - ・ トライアル・デモ実施回数 実績 6 回 → 計画 3 回
 - (併催) トライアル試乗体験 実績 2 回 → 計画 2 回
 - 小学校訪問 実績 1 回 → 計画 1 回
 - ・ 観客に身近に感じられる様に、女性選手や若手選手も登用したパフォーマンスとする
 - ・ インポーター様にもご協力いただき、トライアル体験が出来るブースを可能な限り併設する
 - ・ 観戦いただいたお客様に 直近トライアル大会のPRや券売、近隣のトライアルスクールなども紹介する

2. 一般ライダーに向けた活動（ツーリング・イベント等）事業

- a. 共催
 - A) 日本ライダーズフォーラムと共催にて「にっぽん応援ツーリング」を実施
ボランティアを主体としたライダー達の地位向上、より良い二輪文化の創造を目的としたイベント
 - B) 加盟するバイクラブフォーラムにて、「第13回 BIKE LOVE FORUM in 埼玉・おがの」を実施
“バイクの力で地域を盛り上げよう”を開催テーマにおいたイベント
- b. 公認・後援・協賛
 - A) 日本ライダーズフォーラム/風間深志事務所が主催するイベントを後援
 - ・ SSTR2025 石川県・羽咋市
 - ・ 世界環境デーJoint motionへそミーティングin山中湖
 - B) モトツアーズジャパンが主催するツーリング企画を公認
 - ・ 富士周遊ツアー2025
 - ・ HondaGO 公道デビュー応援 プリンセスツアー in北軽井沢
 - ・ 公認・後援・協賛事業を自社媒体SNSやWEBで発信し、MFJ会員や一般ライダーへ事業訴求を図る
 - ・ “ツーリング部会”設立に向けた“準備委員会”を 設置
競技と一線を隔し、モーターサイクルを楽しむ活動として人気を博す「バイクツーリング」を研究・学ぶために設置する
ヨーロッパなど諸外国の様にツーリングファンとスポーツファンの垣根を取り去りイベント（観客・参加者）へ波及させる

⑥ MC普及事業

3. キッズに向けた活動（親子バイク・キッズバイク体験）事業

- a. バイクに触れたり乗ったことがない子どもたちに、ポケバイや電動バイクに試乗する機会を創造る
- b. 公認・後援
 - 子どもたちへの普及として、キッズ対象イベントを公認もしくは後援し、協会SNSで発信
 - モビリティリゾートもてぎ、筑波サーキットにて、ポケバイ体験会を実施
 - 東京モーターサイクルショーにて、電動バイク体験会を実施
 - 全日本選手権モトクロスレース キッズバイク体験会を実施 年3回開催 広島、オフロードビレッジを予定
 - 新たなミニバイクコースと連携し、ロードレース予備軍 を育てる

新たなキッズバイクは、他の普及事業や支援事業を見直し、予算捻出する

⑦ 安全対策と環境改善事業

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会そして各種目委員会にて安全向上と環境対策に取り組む

1. 全域に及ぶ安全対策

事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討そして情報の共有

2. 選手に対する安全対策

- a. 全種目
 - A) 公認規格に基づく装備品（ヘルメット/レーシングスーツ）の公認（主：スポーツ事業）
 - B) 安全装備の装着義務と推奨の周知（主：スポーツ事業）
 - C) 脳震盪の判定対応と復帰プログラムの推進
 - D) 熱中症に対する啓発
 - E) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートの運用
 - F) ドーピングコントロール
- ・ 脳震盪判定プログラムを最新基準に更新する
- b. ロードレース／モトクロス
 - A) サーキットアドバイザーの配備補助（ロードレースのみ）
 - B) インストラクター養成事業の実施（ロードレースのみ）
- ・ 全日本ロードレース参加者へ、事前講習会（セーフティワークショップ）の受講を義務化
- ・ SNS発信の扱いからや対外的な発言に対してのマナー講習会の実施

⑦ 安全対策と環境改善事業

3. 施設/競技役員に対する安全と環境改善対策

- a. ロードコース規定に基づき競技施設の定期査察及び改修査察の実施（主：スポーツ事業）
- b. 全日本選手権のモトクロス、トライアルに、医療用品の配備とAED配備（主：スポーツ事業）
- c. 地方選手権のモトクロス、トライアル、エンデューロに、AED配備（主：地域組織管理事業）
- d. 地方の競技役員の安全と運営・判定レベル向上に向けた教育（主：地域組織管理事業）
 - ・ 将来の安全対策のため、全日本選手権のコース図、役員配置、医療体制を資料として保管する
 - ・ メディカル部会により、全日本ロードレース選手権 開催サーキットの視察を実施し、現状把握と課題の抽出に取り組む

4. 観客に対する安全・環境対策

- a. オフロード種目に於ける観客への注意喚起と立ち入り禁止表示の配備
- b. FIM 環境ガイドラインに沿った、喫煙所、トイレ、水場、ゴミ箱の配備
 - ・ FIM環境ガイドラインを全日本選手権にも適用し、全日本選手権の観戦環境を改善する

5. 保険加入・管理業務

参加者の安全保障を確保するため、各種保険の加入・管理業務を行う。

受傷時には、確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

- a. スポーツ安全保険 対象：競技・エンジョイ会員の走行時の負傷
- b. 災害補償保険 対象：会場にいる関係者の事故補償
- c. 傷害保険 対象：会員と同時走行または参加する非会員の事故補償
- d. 賠償責任保険 対象：参加者関係者と観客の第三者事故賠償補償

⑧ 地域組織管理事業

各地区専門部会が開催する競技会の事務局サポート、連絡、調整を行い、各地区の情報発信を実施する

- a. 体制 本部事務局員： 1名専任、外部業務委託： 要員4名 計5名体制
- b. 地域管理 主な業務
 - A) 地区専門部会の開催サポート/連絡/調整管理
 - B) 地方選手権（MX/TR/ED）の管理と地区情報の発信（MFJ-HP）
 - C) 競技運営・安全に対する教育と安全啓発
 - D) 競技と安全対策機材の管理手配（救護機材・AED管理手配）
- ・ 各地域部会とのつながりを再整備し、競技役員の満足度向上と新規参加促進を図るRDの底上げを目指し、各地域RD部会の再整備とミニバイク開催主催者と施設との新たな関係構築を図る

⑨ 国際対策事業

1. 国際モーターサイクリズム連盟（以下FIMという）、FIMアジア協会への加盟、連絡、調整
2. FIM総会・FIMアジア総会へ委員及び事務局員の派遣（リモート含む）
3. FIM規則の翻訳
4. FIM・FIMアジアライセンスの発行
5. FIM世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定セミナーの開催および受講者の派遣（リモート含む）
6. 国内開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
7. 国内モーターサイクル業界における環境活動に対して、FIMへFIMライドグリーン認定の申請
8. 来日したFIM、FIMアジアならびに協会関係者への滞在中の支援
9. 海外競技会に参加する邦人選手への遠隔・直接の支援
10. その他（国際交流の促進）
 - a. 代表選手派遣事業・・・トライアル・デ・ナシオン、モトクロス・オブ・ネーションズ、アジア国別対抗戦 を継続実施
 - ・ 国内で開催される国際格式の大会を海外へ発信（海外選手の参加促進と海外に興味のある邦人選手ならびにスポンサーの海外進出のきっかけづくり）
 - ・ 女性スポーツ部会などの国内活動やCN燃料など環境に対する取り組みを、FIMへ共有し FIMから世界発信を狙う
 - ・ アジア国別対抗戦派遣は、ロードレース委員会・女性スポーツ部会の連動企画として、国内選拔し女性選手に特化し派遣する
 - ・ 海外で活動・派遣する選手を日本国内から支援し、より活躍できる実効性の高い事業を中心に支援を検討する
海外選手支援事業の予算は、既存のネーションズやデナシオンを含め既存事業の予算を再配置により捻出する（実績に応じ再配分）
 - ・ FIM競技役員セミナー（ロードレース、車検） を開催 車検：5月13-14日 CCR：6月14-15日 メディカル：2026年に予定

⑩ 補助金事業

1. （公財）J K Aオートレース
MFJ競技会の安全レベルと運営力強化のため、補助金申請を行い 設備の充実を図る
 - ・ トライアルデモンストレーションで使用するセクションやテントなどの治具
 - ・ 交付額：1,097,000円

IX. 諸会議の開催計画 (2025年4月～2026年3月)

5月末日時点

15

	2024	2025	2026		2024	2025		2024	2025
女性スポーツ部会1/5		1/13(祝月)		タイヤ入札委員 (ST1000)	7/8(月)	6/12(木)	メディカル部会2/2	9/16(祝月)	9/15(祝月)
セーフティ委員会1/5		2/6(木)		装備品部会(スーツ)	5/9(木)	6/13(金)	タイヤ部会	9/20(金)	
普及対策部会1/4	2/1(木)	2/7(金)	×	女性スポーツ部会3/5	6/20(木)	6/18(水)	コース査察(MX/SUGO)	9/23(月)	
技術委員会1/3	2/28(水)	2/7(金)		評議員会1/2	6/27(木)	6/26(木)	中央スポーツ委員会4/5	10/8(火)	10/7(火)
MSMA-J		2/7(金)		ツーリング部会準備会議2		6/27(金)	セーフティ委員会4/5	10/1(火)	10/15(水)
モトクロス勉強会		2/8(土)		セーフティ委員会3/5	7/4(木)	7/2(水)	ロードレース委員会(主催者 作業部会)4/5	10/11(金)	
ロードレースセミナー	2/3(土)	2/15(土)		モトクロス委員会		7/3(木)	規律裁定委員会聴聞会	11/5(火)	×
RD委員会(プロモ)1/5	2/9(金)	2/20(木)		事故究明及び再発防止会議	5/9(木)	×	中央スポーツ委員会(作業)	11/6(水)	×
メディカル部会1/2	2/25(日)	2/23(日)	2/22(日)	MX委員会(作業)1/3	7/9(火)		モトクロス委員会3/3	11/7(木)	
中央スポーツ委員会1/5	1/30(火)	2/26(水)	2/25(水)	MSMA-J会議	7/9(火)		競技用装備部会(RS作業)	11/12(火)	
運営財務委員会3/3	3/5(火)	3/6(木)	3/5(木)	中央スポーツ委員会3/5	7/10(水)	7/9(水)	スーパーモト委員会	11/14(木)	
理事会3/3	3/7(木)	3/13(木)	3/10(火)	ロードレース委員会2/5	7/12(金)	7/22(火)	技術委員会3/3	11/19(火)	
トライアル地区部会長打合せ	3/6(水)	3/18(火)		モトクロス委員会2/3	7/25(木)		競技用装備部会(H作業)	11/21(木)	
評議委員会2/2	3/28(木)	3/25(火)	3/26(木)	インデューロ委員会	8/1(木)		トライアル委員会3/3	11/22(金)	11/11(火)
	2024	2025		殿堂評議会2/3	8/5(月)		ロードレース委員会5/5	11/13(水)	11/12(水)
セーフティ委員会2/5	4/10(水)	4/7(月)		トライアル委員会2/3	7/5(金)	8/7(木)	女性スポーツ部会5/5	11/26(火)	11/18(火)
タイヤ入札委員(ST1000)		4/16(水)		女性スポーツ部会4/5	9/12(木)	8/27(水)	監事監査	11/27(水)	11/26(水)
女性スポーツ部会2/5		4/16(水)		普及対策部会3/4	8/8(木)	8/28(木)	セーフティ委員会5/5	12/2(月)	12/1(月)
技術委員会2/3	4/24(水)	5/9(金)		女性スポーツ部会(作業)	8/20(火)	×	中央スポーツ委員会5/5	12/3(火)	12/2(火)
ツーリング部会準備会議1		5/9(金)		MSMA-J会議	8/28(水)		普及対策部会4/4	11/28(木)	12/5(金)
中央スポーツ委員会2/5	4/16(火)	5/20(火)		RD委員会(主催者)3/5	8/30(金)		運営財務委員会2/3	12/10(火)	12/9(火)
トライアル委員会1/3	5/23(木)	5/22(木)		殿堂評議会3/3	9/3(火)		理事会2/3	12/20(金)	12/19(金)
装備品部会(ヘルメット)		5/26(月)		スーパーモト委員会	9/4(水)		MFJ MotoAwards	12/21(土)	12/20(土)
普及対策部会2/4	5/8(水)	5/28(水)		コース査察(MX/OFV)	9/8(日)		委員会名	増減数	
監事監査1/2	6/4(火)	6/3(火)		スノーモビル委員会	9/10(火)		中央スポーツ委員会	▲1回	
殿堂評議会1/3		6/4(水)		コース査察(MX/いなべ)	9/12(木)		女性スポーツ部会	▲1回	
運営財務委員会1/3	6/6(木)	6/5(木)					ツーリング部会準備会議	+2回	
理事会1/3	6/11(火)	6/10(火)							